

経済・金融 フラッシュ

大幅減少続く米貿易赤字～2月は ▲260億ドルと前年比▲58%の減少

経済調査部門 主任研究員 土肥原 晋

TEL:03-3512-1835 E-mail: doihara@nli-research.co.jp

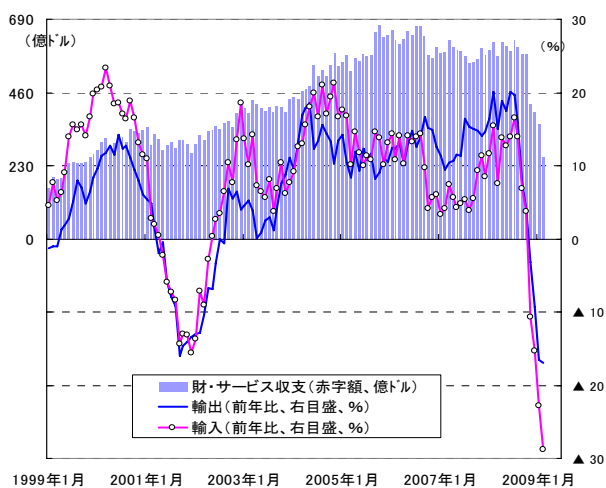
(全体の概要)

●貿易赤字は急速な縮小の動き～2月前月比は、輸出増の半面、輸入減が持続

米商務省が4/9発表した2月の財・サービスの貿易赤字額は、▲259.7億ドル（国際収支ベース、季節調整済）と1999年11月（▲257.5億ドル）以来の低水準となり、市場の予想（▲360億ドル）、前月（▲362億ドル）をともに大きく下回った。前月比では▲28.3%と7ヵ月連続の縮小、前年比では▲58.0%と4ヵ月連続の縮小となった。

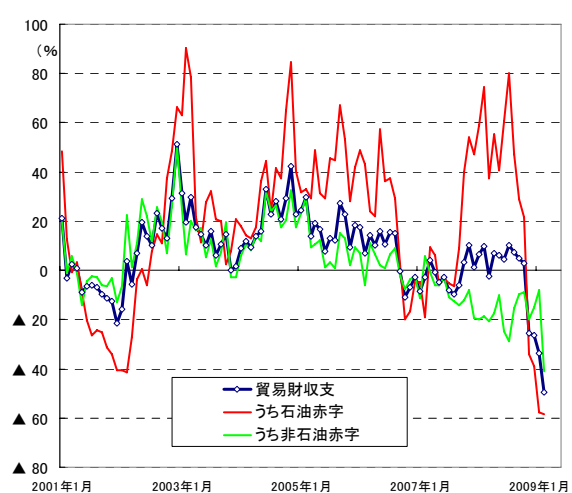
輸出入の動きを見ると、輸出は前月比1.6%と7ヵ月ぶりに増加したが、輸入は同▲5.1%と7ヵ月連続で減少した。一方、前年同月比では輸出が▲16.9%、輸入が▲28.8%と、両方とも減少したが、輸入の減少率が大きく、また、輸入の方が金額ベースの規模が大きいこともあり、赤字額の減少が急速に進んだ（図表1）。

(図表1) 貿易赤字と輸出入(前年比)の推移



(資料) 米商務省、国際収支ベース、季節調整済

(図表2) 石油赤字が一転大幅減に(前年比)



(資料) 米商務省、(季節調整済、サービス除き)

(商品別の動向)

●輸入減の主因は石油の減少～自動車も大幅な減少に

輸入減少の最大の要因は、石油・石油製品の輸入減にある。原油価格の下落もあって、石油輸入は前年同月比▲56.0%と半減しており、石油以外の財輸入（同▲26.0%）との比較では減少幅が

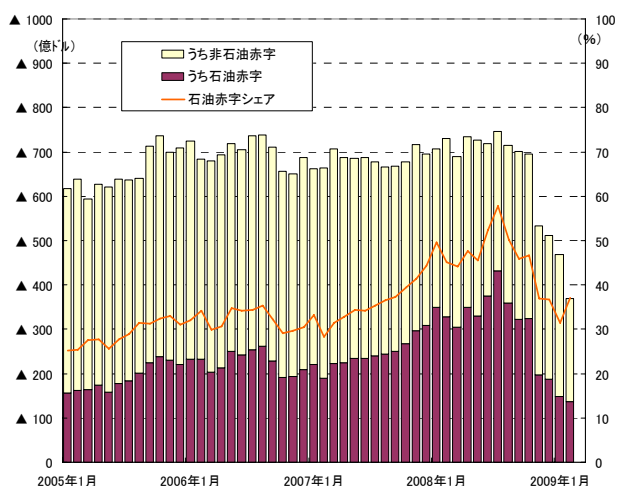
倍以上となる。なお、石油に次いで減少幅が大きいのは自動車で前年比▲53.5%だった(図表2)。

一方、輸出の減少について前年比で見ると、自動車が同▲44.4%と大幅な減少となったことが大きい、そのほか工業用原材料が同▲30.3%、食料が同▲19.2%、等の減少率が大きかった。

原油価格の下落と内外経済の悪化により、前年比の輸出入はともに大幅な減少を見せているが、既に米国の輸出入が減少した2001年リセッション時を上回る減少幅となっている(図表1)。

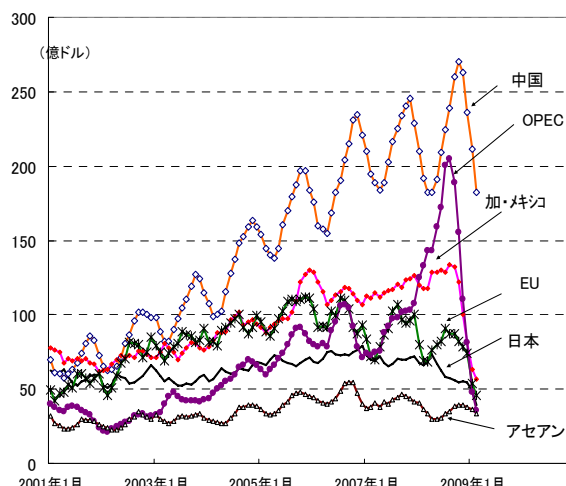
なお、石油・石油製品の輸入については、景気要因に加えて価格下落要因が大きいため、金額ベースの縮小が加速している。このため、貿易赤字(財ベース)に対する石油・石油製品の赤字のシェアは、原油価格が高騰した2008年7月の57.9%をピークに、2月には37.1%へと急速な縮小を見せている(図表3)。なお、2月の原油輸入価格は39.22ドル、昨年2月は84.76ドル、ピークは2008年7月の124.66ドルだった。

(図表3)石油等の貿易赤字シェア(月別、%)



(資料) 米商務省、(季節調整済、サービス除き)

(図表4)米国の地域別貿易収支(3ヵ月移動平均)



(資料) 米商務省、(季節調整前、サービス除き)

(国別の動向)

●赤字額急減の中でも対中国の赤字突出は不変～一方、OPECの赤字減少が顕著に

貿易赤字全体の縮小に伴い、2月の地域・国別貿易収支(サービス除き、季節調整前)も、押しなべて急速な縮小を見せている。米国の最大の貿易赤字国は依然中国であることに変わりはないが、2月の対中赤字額は▲142億ドルと前月(▲206億ドル)から急減している。国別赤字額の第二位はメキシコの▲31億ドルで、以下、日本▲22億ドル、ドイツ▲19億ドル、▲カナダ18億ドル、と続く。また、原油価格下落等を背景に対OPEC諸国との赤字は▲21億ドルと急激に縮小しており、前月(▲40.3億ドル)から半減、対EU赤字額(▲33億ドル)を大きく下回った。1年前の米国の対OPEC赤字額は▲132億ドルと現在の6倍、また、当時の対EU赤字▲69億ドルの約2倍の規模であったことを考慮すると、この間の赤字縮小を加速させた主要因とも言えよう(図表4)。

(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。